

# ファイザーのコロナ飲み薬

# 入院リスク 89%減

臨床中間結果

米製薬大手ファイザーは5日、開発中の新型コロナウイルスの飲み薬が、ワクチン未接種で、重症化しやすい持病などがある人の入院リスクを89%減らせたとする臨床試験の中間結果を発表した。米食品医薬品局（FDA）に近く緊急使用許可を申請する。

臨床試験に参加した約1200人を分析した。新型

コロナを発症後、3日以内にのんだ389人のうち、入院は3人で、死者はゼロだった。一方、偽薬をのんだ385人では27人が入院し、7人が亡くなった。副作用も軽いものがほとんどで、割合も偽薬と変わらなかった。結果を受け、第三者機関は、試験規模を拡大するための参加者の追加を中止するよう推奨した。

ファイザーのブーラ最高経営責任者（CEO）は「パンデミックを止める、本当のゲームチェンジャーだ」とする声明を出した。発表を受け、米ニューヨーク株式市場の時間外取引で株価は10%超値上がり。米大手航空会社など旅行関連の株価も軒並み値上がりしている。（ワシントン＝合田 緑、ニューヨーク＝真海橋生）